

一般財団法人 地図情報センター  
平成30(2018)年度事業計画  
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

1. 地図学・地理を主とした教育に関する研究

- 1-1 地図及び地図資料の情報化のための調査研究  
当財団及び関連機関が保有する地理空間データの有効活用、学術研究の継続と、  
地図・地図資料の情報化に向けた調査研究を行う。
- 1-2 所蔵資料データベースの総括  
所蔵地図資料・書籍のデータベース整備を継続する。
- 1-3 地域の変化に関する情報の研究  
地域の変化に関するデータベース「地域情報ニュース」を継続する。
- 1-4 インターネット関連事業の充実  
Web関連事業の一層の充実を図る。特にスマホへの対応強化する。
- 1-5 研究のための関連団体・個人との連携協力  
内外の地図・教育関連諸団体や個人とのネットワーク化を推進する。
- 1-6 受託事業の実施  
地図・地理の普及・啓発や地理教育に関する受託事業を実施する。

2. 地図・地図資料の普及・啓発および地図・地理を主とした教育振興事業

- 2-1 地図・地図資料の研究に関するセミナー、シンポジウム等の開催
- 2-2 地図・地図資料に関する普及・啓発活動への支援  
地図展への協賛（「身のまわりの環境地図作品展」多摩市、「鳥取県児童生徒地域地図発表作品展」鳥取県）を継続
- 2-3 地図・地図資料の普及・啓発のための行事  
巡検の開催（都内巡検、バス巡検）  
日本地図学会定期大会（富山大学）への参加
- 2-4 事業委員会での普及・啓発活動検討事業  
新規出版物の継続・検討（含当財団所蔵地図利用等）
- 2-5 実践マップスキル(MS)研究会  
実践マップスキル研究会（川崎を検討中）の円滑な事業実施
- 2-6 ホームページの活用  
Webの商用利用や会員確保に関する研究および事業の推進
- 2-7 表彰の検討  
地図・地理知識の普及・啓発を行った個人・団体への表彰の検討

### 3. 地図資料室の運営

- 3-1 地図・地図資料の収集・管理
- 3-2 地図資料・情報の提供  
原資料および電子媒体による地図情報の提供
- 3-3 所蔵目録の継続整備
- 3-4 デジタルアーカイブの充実

### 4. 地図・地図資料の普及・啓発および地図・地理を主とした教育関係出版物の刊行

- 4-1 研究機関誌「地図情報」の刊行(年4回)38巻1~4号(通巻145~148号)
- 4-2 地域変更情報「地域情報ニュース」(AiN)の刊行(月刊)
- 4-3 ニュースレター「ICICニュース」の刊行(年4回)
- 4-4 「世界の地図情報」の年度版刊行(年1回4月)
- 4-5 国際理解地図帳(DOOR)の編集
- 4-6 その他地図・地理関係出版物・電子ブックやグッズの企画
- 4-7 事業内容・研究成果のメディア・Web広報

### 5. 委員会等

- 5-1 常任理事会の開催
- 5-2 理事会・評議員会の開催
- 5-3 各委員会の開催
  - ・編集委員会：「地図情報」の編集と会員増加策
  - ・行事委員会：巡検・見学会・セミナーの実施と参加者の拡充
  - ・経営・組織委員会：財政基盤強化、収入増加・安定策の検討、人事の調整
  - ・事業委員会：既存事業の強化、新規事業の開発、収入増加策